

オウム対策住民協議会ニュース

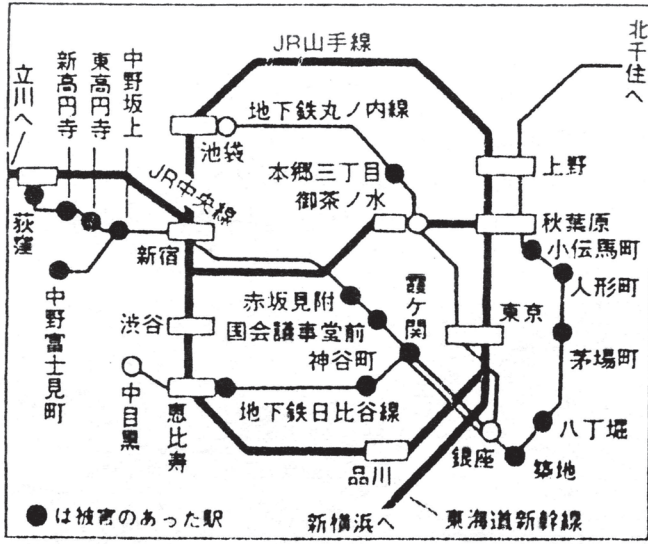
烏山地域オウム
真理教(現アレフ)
対策住民協議会

あの時を忘れない Vol 4

地下鉄サリン事件

朝の通勤時、都心で無差別テロ

通勤ラッシュの地下鉄で泡を吹いてバタバタ人が倒れていく。救助に走った地下鉄職員も倒れる。一九九五年三月二十日、週明けの朝の通勤時、都心の地下鉄という密室を狙い撃ちした無差別大量殺傷。サリンによるテロは十二名の死者と五千人以上の重軽傷者を出した。シリーズ「あの時を忘れない」四回目は、史上例を見ないこの非情で残忍な「地下鉄サリン事件」に迫ります。



地下鉄十六駅で異臭騒動

一九九五年三月二十日、午前八時過ぎ、地下鉄日比谷線霞が関で、中目黒発東武動物公園行き車内に突然刺激臭が立ち込め、乗客が次々と倒れた。同時に、日比谷線築地、八丁堀、人形町駅などで、丸の内線荻窪、中野坂上など、計十六駅で被害が発生した。八丁堀駅では通勤途中の会社員が死亡、霞が関駅では助役が車内から不審物を事務室に運ぶ途中で倒れ死亡した。

五電車から不審物六個

不審物が見つかった営団地下

鉄の五本の電車は、いずれも午前八時九分かつ同十三分の四分間に各線の霞が関に到着する予定の電車だった。日比谷線に乗り込んで被害に遭った乗客は「中目黒で乗り恵比寿で降りた四十歳の男が床に新聞紙に包まれた箱を置いた。そこから液体が流れ出した。その後、異常を訴える人が続出した」と述べている。事件二日後、警視庁は押収物質の分析からサリンを検出したと発表、東京消防庁は丸の内線中野坂上駅で、車内から有機化合物を溶かすことに使う溶剤アセトニトリルを検出した。

オウムまでも全面否定

事件の翌日午後、オウムは「教団は地下鉄事件には一切関係ない」と発表した。オウムは目黒公証役場の假谷清志さんの拉致事件の時も「一切関係ない」と主張、坂本弁護士一家殺人事件の時も「教団を隔れようとする悪質かつ巧妙なでっち上げ」と声明した。オウムは事件の度にこうした「国家権力による宗教弾圧」との詭弁と嘘を繰り返して、罪を隠蔽するのが常套手段だった。しかし地下鉄事件の二日後、警視庁は「假谷さん拉致容疑」でオウムの施設一都二県二十五カ所を家宅捜索、上九一色村の施設からドラム缶に入った、地下鉄サリン事件で中野坂上駅で検出された有機溶剤アセトニトリルを大量に押収。三月二十六日の捜査で、オウムのサリン製造が確実になつたことから容疑を殺人予備・殺人に切り換えて捜査、假谷さん拉致・監禁・殺人事件解明を大きく進展させた。

一斉捜査のかく乱を目的に

「第7サティアン」と呼ばれる施設を中心にした検証作業を続けていた捜査当局は、地下鉄サリン事件に使われたのと同じ種類の化学反応促進剤、溶剤を検出、事件に使われた複製構造のビニールシートも発見した。「化学班」土屋正美容疑者から麻原彰晃の指示により、組織的にサリンを製造したとの供述も得た。一月にサリン疑惑が発覚、教団施設への一斉捜査が近いとの情報から証拠隠滅のために実験施設を撤去していた。地下鉄事件三日前の深夜、「科学技術省」長官の村井秀夫(後に刺殺)が土屋を呼んで、間近に迫った假谷さん拉致事件の強制捜査をかく乱する目的でサリンの製造を指示、遠藤誠一(殺人容疑で逮捕)が別の施設「ジーバカ棟」で生成させた。

事件から五十八日目、麻原逮捕

捜査当局は、すでに逮捕していた信者の証言から、地下鉄サリン事件



の実行グループは、女性幹部を含む十数人で五つの電車に二、三人づつ別れて乗り傘の先でポリ袋を突き刺してサリンを気化させる役と、見張り役などを分担していた事実を割り出した。事件発生から五十八日目の一九九五年五月十六日朝、捜査当局はついに麻原彰晃ら幹部と信者の計十五人を殺人・殺人未遂で逮捕した。

未だに持つ大量殺人の危険性

今年四月、森山眞弓法務大臣が衆院議長に提出した「破壊活動防止法」に基づくオウムの団体規制状況の報告書の内容は、烏山住民協議会の二年半の運動の正しさを立証するものだった。この報告書の「組織の概況」の中で、当該団体は現在に至るでも麻原彰晃を「グル」「尊師」と称して絶対的帰依の対象とし、麻原の脳波を注入できるとするヘッドギアを奨励し、麻原が唱える「マントラ」(呪文)を大音量で流し「グルとシヴァ神に帰依し奉ります」という内容の「懺悔の詞章」を唱える修行を課している。現在の主幹者である上祐自ら松本、地下鉄サリン事件を正当・肯定する説法を行っており、依然として無差別大量殺人行為に及ぶ危険性があると認めるに足りる事実があると認定し、さらに立ち入り検査に備えて施設内部を改造、床下や天井裏に麻原彰晃の説法を収録したビデオなどを隠匿するなど、立ち入り検査の実効を阻害し、活動実態の隠蔽を図ろうとする姿勢が認められると報告している。

オウムを解散させないと安心して暮らせない、これが私たちの目標であることを再確認させられる内容だった。(参考：新聞各紙)

6月15日 烏山区民センター広場で募金活動

「人形供養」に烏山地域オウム対策
住民協議会から模擬店参加

6月15日(日)に烏山区民センター広場でJ Aラビス主催の人形供養が行われた。その模擬店に烏山地域オウム対策住民協議会から3店出店をした。最近会の財政が大変厳しく、住民協議会が率先して活動し収益を住民協議会活動に役立てようというもの。

当日、予報では傘マークだったので何とか天気を持ってくれればと心配していたが、雨は最後まで降らずに「仮面ライダーショー」が始まる11時頃には会場は親子連れでいっぱいになった。住民協議会からは「焼そば」「フランクフルト」「玉こんにゃく」を出店したがすべて売り切れとなった。参加した住民協議会の延べ人数は23名にのぼった。

「人形供養」は烏山で行う初めてのイベントだったが、14日から続々と人形が運ばれてきて15日には祭壇いっぱいとなった。今後烏山のイベントとして定着しそうである。

当日3店の収益金 77,943円

当日の募金額 33,111円

他ダイヤスタンプ2冊

収益金、募金額合計111,054円を住民協議会に寄付を致しました。ありがとうございました。



横浜から連帯のお手紙(その4)

●警察当局は、全国の教団関連施設約120ヵ所を殺人予備容疑などで一斉搜索した。

心凍りついた強制捜査 1995.4.14

朝6時20分、「居るわよ、居るわよ」という妻の声に飛び起き、エレベータで1階に向かった。扉が開くと同時に、先頭がカナリアの籠を持った防毒マスク着用の迷彩服の人の波に圧倒された。7時の強制捜査に備えて、エントランスに待機する捜査員でした。この捜索は夕方5時過ぎまで続いた。約百個の段ボール箱、ビニール袋などの押収品があったが……。実は、前日の夕刻、信者達は情報を入手したのか、多数の段ボール箱や荷物を入れたバッグを警備の警察官らの目を掠める様に、非常階段から運び出し、車で何処かに持ち出していたのです。その後も、10

回以上、強制捜査は続いたが、あれ以上の衝撃的な瞬間はなかった。籠のカナリアを見た時、マンション内に飛び散るサリンが目に入り、心が凍りつき、しばし、動けない状態でした。

(協議会ニュース)について

假谷さんの事件は、なんとも痛ましいものでした。オウム(現アレフ)の強制捜査が、たしか2月中旬に決まっていたはずで、阪神大震災によって、先送りになってしまい、事件の発生となったのです。震災がなければ、假谷さんは無事のはずではと本当に残念です。

オウム反対運動をしている 横浜市 志賀 準

オウム反対運動への募金のお願い!!

オウム反対の運動が始まって、すでに2年半が経過しました。裁判ではオウムの信者達の死刑、あるいは無期懲役が求刑されています。4月には麻原彰晃も論告求刑で死刑が言い渡され、来年1月には刑が決定します。しかし、名前をかえたオウムは仮面をかぶり、反省どころか一層勢力を拡大しています。烏山の「本部」にも100名以上の出家信者が居住しています。

烏山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会では、この2年半、様々な活動を展開してきました。2回に亘って、大きな署名・募金活動、6回を数える講演会・学習会、第26号を発行した広報紙、国や都、各行政機関への請願・要望活動、街頭やイベント会場での署名・募金活動と精力的に行ってきました。現在の中心活動は「非人道的なオウムの修行」のやり方をあばく為、オウム道場

の監察を行う事を目的に、オウムと対決しています。今後の活動で大事な事は、活動を継続させ常にオウムと対峙する状況を作りながら、私たちの回りには「オウムを許さないぞ」との気持ちを持った人が幾重にも取り囲んでいる状態を作る事です。少数の力持ちより、万人の力の方が、必ずやオウムに打撃を与えるでしょう。

現在の住民協議会の財政状態は、出費ばかりで募金の集まりが芳しくありません。どんな形の募金でも結構です。ダイヤスタンプやテレホンカードの寄付、家庭でオウム反対の募金箱を置く、店先におつりの募金箱を置くなど、様々な方法があります。下記にご連絡いただければ会の方から伺う事もいたします。皆様の募金があつて、私達の運動も継続する事が出来ます。

どうぞご協力よろしくお願い致します。

住民協議会活動報告

5月22日(木) 住民協議会

5月26日(月) 事務局会議

6月9日(月) 広報部会 住民協議会ニュース27号初校正

6月14日(土) 事務局会議

6月15日(日) 烏山区民センター前広場で、募金活動

6月16日(月) 広報部会 住民協議会ニュース27号再校正

6月23日(月) 住民協議会ニュース27号発行

住民協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この住民協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。